

493

至急
親展



發
通報

第九號輸送艦長
橫須賀運輸部長

機密第三一六四番電

小笠原航路船團運載着信艦所

一 段信三番電 一 款好七番電
一 款好七番電 一 款好七番電
一 款好七番電 一 款好七番電



共

存

本艦機密第二九一二番電ニ依ル行動ヲ三月延
期ス三月二二〇〇ニ見着ノ予定
尚ム口線灯台附近ニ嚮導艦派遣方御頼ス
念ノ為
直一七〇七一 呂/Bl 方丈 (二二大ke) 横須賀 田中 (所次)

434

定案

石の解

第十信課

五三一 受信二〇〇四六 丁〇一〇 〇〇〇七九 人 本

急 親展

東 三三二空

暗號 秘

三三一八三一番

人 事務長

十二月二十五日... (不詳)

三... (不詳)

石の解

海軍

485

T

皇正統二年 皇一萬六千七百三十三號以ノ海軍

海軍

皇正統二年 皇一萬六千七百三十三號以ノ海軍

親展

密號軍機秘

皇正統二年 皇一萬六千七百三十三號以ノ海軍

第十信課

436

六六

受信一四一五〇

譯丁一五一五

〇〇三〇二六五

昭和六年六月七日
作概〇

至
急
作

東通・佐通・高通・鹿島空基地

沖根

本
機密第〇六一〇七番
沖根司令官

第三二軍司令官

通報 臺灣軍司令部（參謀本部）・佐長官・大海參謀部

本年一月ヨリ南西諸島空軍司令官參謀長總司令官閣下ノ格別ナル御懇情ニ接シ不肖益々感激シ全力ヲ懸ゲテ御協力ヲ致シアリシ所新號作戰ニ至ル連絡ノ不充分通信錯誤書類ノ遲達等ヨリ遂ニ御心ニ副フヲ得ズ又最後ニハ是非共司令部閣下ノ濫キ膝下ニ馳參ズル所存ナリシモ敵情之ヲ許サズシテ相分ルルニ至リタルモ固ヨリ御協力ノ誠意ニ於テハ前篇（沖根機密第〇四〇九一八番）一應軍側當局ニ報告セシ如クニテイササルカノ變化ヲ到ラセルモノニ非ズ茲ニ謹ミテ從來ノ御懇情ヲ感謝光輝アル旨軍ノ武運ニ長ムヲ祈ル

三三四
三二七（九八三〇四）佐二

437

六七 受領一八〇三〇〇 圖了一八五五 電〇三六六六 人事

至急親展

暗號

人事局

機密 〇六一六四九番電

第一三三航空隊

人事局長

管機務部 〇四一〇三〇番電 左邊追加

築城空附高木敏次郎 (一六六一〇) 天草空附須藤竹次郎 (五五七五六

八六)

通三八二三 船 (サトウ局)

海軍

第十課

438

人

傍

親至六
展急七六

情報通秘

受信二二五九 開始〇八四五
了〇九四五 電〇三三七八 作機〇

● 鹿屋航空基地

● 沖根

機密第〇六一七〇七番

● 参謀

● 参謀長

通報 第五A 参謀長

本隊最後迄三三二軍トノ連絡ニ任ズベキ事此處ニ至リ沖根司令官ノ下ニ
最後マア奮戦セントス長期ニ亙リ何等作戦ヲ寄與スル處無ク御期待ニ添
フコト能ハザリシヲ深ク御詫申上ク。

通三圖六一 呂一〇ケ七一九八三〇IC(佐二放

439

人事

六
航空
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

受信
開始
〇二〇五六

譯了
〇三〇〇

電
〇三六八五

航本
人事

東

通・七二航空戦隊

大村航空基地

機密第〇七一七一三番電

二分ノ一二

發 三四三空司令

宛 人事局長 七二航戦司令部

鹿屋機密第〇四〇九〇七番電ニ依當隊搭乗員補充ニ關シ舊大村空及

三五二空ヨリ左記九名ヲ戦闘第七〇一飛行隊ニ轉入方配慮ヲ得度

上飛曹井上進(佐二八七〇)小澤英治(横二二七〇九)堀本等(吳

五三二五)松田眞法(吳二五九四)開出正建(吳二七九四)福長憲

(吳二九三二)一飛曹伊藤實(吳一七八二八)松本治(吳三一九三)

森初夫

通三九二四、三九四六 呂一(五二〇〇)佐通

海軍

第十課

460

人事

大 八七 受領 〇〇〇〇五 丁 〇一〇〇 電 〇三六八四 一令 人事

軍事急電

親展

● 東 通 ● 大 通

● 第一千歲新空基地

暗號軍極秘

機密房 〇七一一八三七番電

大警 十三 參謀長

短 人事局長 大海參一部長

一千根司令部本日千波證明日大演三聯進之豫定

三千根解消二件七同日附以之回航連絡之豫定、大演聯特編成六五

以之遂當之幹部之可司令方取計ハレ度

編三九六六 四二五九十二(一二六尾)横通放 海 軍

電信課 第十課

人

親展

六五
 受領〇三三五〇 野了一四四〇 重〇二四七二 時作〇
 開始〇一四一〇

● 次 官 次 長
 ● 在 典 武 官 (ストツクホルム)

信託軍機秘

機密第二九六番電 〇四十一〇二〇

着信者 在典武官

着信者 次 官 次 長

米紙一タイムに五月二十八日號に依りハ五月十三日大西洋ニ於テ降伏
 米紙測測ハ一ケスオト一乗艦ノリ二三四號ニシテ米兵乗艦後姓名不詳
 日本人二名ノ自殺死体ハ獨樂員ニ依リ海中ニ投棄ハ()
 右兩名ハ庄岡友永兩校衛中佐ナルニシテ難實ナリト認測測艦ニ
 接親シアリタル有地其ノ他ノ文書等々其ノ值押取セタルセリノ
 如シ

題二五三三 夜軍

海軍

第十信課

4474

親展

六八

受信開始 〇〇四〇〇〇

〇四一五 電〇三七三七 補人

一〇方面艦隊

東通

第二南遣艦隊

機密第〇七二一一六番電

暗號軍極秘

宛 人事局長

一 湖中路第二十五特別根據地隊司令官ニ至急發令方取計ハ度

通四一〇五 自一〇一七五九〇 海軍

第十信線

44



大 八

開始 〇〇 〇〇 〇〇

終了 〇時 三十分

〇〇 三三三六

補人 〇

緊急親展

緊急親展

二五 浪

東區・二區 建築部

機號軍機秘

發信 〇七二一 〇七二七

第一 中將

第二 大佐

同日 第三十五根 陸軍司令部 〇七二一 〇七二七 經由 〇七二一 〇七二七 出 〇七二一 〇七二七

一 〇七二一 〇七二七 〇七二一 〇七二七 〇七二一 〇七二七 〇七二一 〇七二七

〇七二一

〇七二一 〇七二七 〇七二一 〇七二七 〇七二一 〇七二七

海

軍

第十課

www

海軍大臣 閣下

暗號

受信 〇〇七二五

了 〇九一〇

電 〇〇四八六五〇九

功 祖人 續

東 通 舞 通

共

符

機密第 〇九二一一二 番号 二分ノ二

發 神根司令官

宛 大臣 佐領長官

通報 人事局長

六月 二日ヨリ海軍部隊ノミガ小磯地區ヲ死守スル戦闘ニ於ケル殊

勳者左ノ通

司令 少佐 參謀 山田 〇 司令 部 部隊 大隊 長

司令 部 少尉 雨 水 イ 泰 雄 切 込 隊 長 ト シ テ 戦 車 員 一 及 其 四 各 一 燃 燒

通 五 三 五 一

於 十 六 (九 六 八 三 〇 〇) 佐 二 放

海 軍 部 (川 口)

第十信 照

小銃隊編成

司令部兵曹長附杉内セウ陸戦指導者卜實地及兵器ソウ造九五一空
 大佐司令羽田次郎陸戦指導南西空 中佐司令川村トウ陸戦指導南
 西空 少佐整備主任山下茂雄 大隊長同大尉砲術長清水敏彦大隊長
 二二六機隊大隊副長矢野達雄陸戦全敵指導大隊長

4498

第六師團
第十課

海軍

至急
親展
急展

六一二

受信 〇〇一五九
譯始 〇四三〇

譯了 〇四五五

電 〇五七三九

一人軍一
事務令

第十部

海軍潜水學校

宛 海軍潜水學校

通報 軍令部一部長

機密第一一一八四五番電

○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○

伊號第一二二潜水艦被雷沈没ハ誠ニ残念至極而シテ敵潛敵機ノ行動ヨリ見テ七尾方面必ズシモ安全ナラズ且作戰上重大任務ヲ有スル部隊トシテ決戰時機切迫セル實情ト關門方面敵機雷敷設情況等ヲ合セ考フルトキ寧口訓練地ヲ伊豫灘方面ニ選定敵機ニ對スル警戒行動ニ備レシムル如ク積極的教育指導スルヲ適當ト認メラル右ニ關聯七尾方面潜水艦ハ逐次内海ニ復歸セシメラレ度内意ナリ。

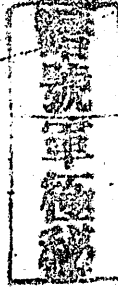
通 六三一 一 呂一Bケ十二(B) 吳

海軍

446

至急 新設

六一二



宛 東京中央

足柄乗組員ヲ以テ昭南ニ警備隊(約七〇〇名)ヲ編成ノコトニ至急取

計ヲ得度
主要職員左ノ通

司令田口(二二九四)副長武藤(三七一三)軍醫長渡邊(夕五九九)主

計長坂本(シ八三三)分隊長大山(五〇二九)小河(五九六四)岸野(

六七八六)檜柴(六九六一)遠藤(七〇七六)加野(七二八六)除附木

原(ヨ夕九三五)畑野(ヨ夕九四五六)加藤(夕二七三二)

右以外士官ノ待遇等先別電ノ通。

通六六三三四三
通六三三三四三
通六三三三四三
通六三三三四三

受信開始 〇〇五三四〇
譯了 〇七三〇
電 〇〇五七七九八
作 概 〇

局長	東	勇	精	通	方	除
一課長	勇	精	通	方	除	
A	B	K	I	J	O	D
機密第一	一一二一一	一一五番電				

機密第一 一一二一一 一一五番電 二分ノ三



二分ノ三

24



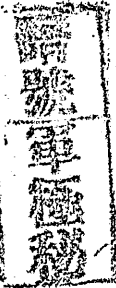
一二
即受信一一〇二〇〇 對了一四五〇 電〇五九〇六 作 概〇

親至
親至
親至
親至

第六艦隊・第一潜水隊・六三一空・佐 通

海軍總隊

447



機密第一二〇九二四番電

發 第六艦隊首席參謀

宛 伊號第四〇二潜水艦機裝具長

六月十七日穴水（石川縣）ニ於テG.F.其ノ他通信設備者ヲ集メ一潜水
艦作戦通信ニ關スル打合セヲ行フコトニ定メラル通信參謀各通信長首
席傳察員伊號第四〇二潜水艦通信長參集セシメラレ殿

2049

第六四七三 爲一〇々十二（ロ）G.F.白

448

親展

六一二

受信一九三〇

丁二二三三五

電自〇六二二九

施人本專

東通・横通

父島通

暗號

秘

機密第一二一一五八番電 三分ノ二二三

發 第三〇三設營隊長 二〇九設營隊長

宛 横須賀人軍部長

通報先 施設本部總務部長 横須賀施設部長 二〇九設派遣員(横

施)

官房人第八號(五月十一日)公報ニ依テ技術科武官任用志願者左記

ノ通ニ付然ルベク取計ハシ度

第三〇三設營隊豫備役下士官志願者(何レモ上等技術兵ニシテ選抜

通六六一六六一九 七〇 一三六〇(横放 海軍)

第十部課

依

近江市松（横二補技第二三五二號）阿部英夫（横二補技第二三五九號）對馬重悦（横二補技第二三九七號）上野廣治（横二補技第二二九號）荒川弘（横二補技第二一二四號）山崎巳之助（横二補技第二四一〇號）阿部清記（横二補技第二三八九號）諸原義三（横二補技第二三三六號）山本榮作（横二補技第二二九九號）高野春太郎（横二補技第二〇九八號）立石吉兵衛（横二補技第二一八二號）向山彌兵衛（横二補技第二一五號）櫻澤夕カシ（二補技二三三九）小野與次郎（二補技二三九一）川岸政太郎（二補技二四一六）塙一郎（二補技二三五四）淺野茂（二補技二七一）平山兵衛（二補技二三七五）本田辰雄（二補技二二七五）會田成治（二補技二一二三）芳賀忠治（二補技二四三一）増淵與一郎（二補技二二二九）石川道

第十課

海軍

雄（二補技二四一四）

右志願資格の一項該當者ニシテ隊附軍醫科士官ノ所見何レモ身體甲
ナリ

第二〇九設營隊現役技術科准士官任用志願者

工長舟行重夫（横施二九一）

第二〇九設營隊現役技術科下士官志願兵

一等整理員吉江和泉（横施二九一七）二等土工員和田光雄（横施一

二二四）

右ハ志願資格の二項及びノ四項該當者ニシテ隊附軍醫士官ノ所見

何レモ身體甲ナリ、上記二十八名ニ對スル書類ハ公報延滞ノ爲遲延

ス

右通報次便ニテ送付ス

第十信課

海軍

449

親展

六一三
 受信〇〇七〇三
 開始〇〇七〇三
 終了〇八四五
 電〇六二三八
 補人◎

第十課

- ◎東京通信隊
- ◎海軍組隊中・吳鎮中

◎共

符

陸軍機務

機密第一二二〇三番電

- 高醫參謀長 第一航空艦隊參謀長
- 人事局長 大海參一郎長 軍務局長
- 通報 G B 參謀長

高警機密第〇七一三三三二番電開聯

六月十五日附第一航空艦隊解隊第二九航空艦隊編成ノ内報アリシ處
 第一航空艦隊人事ニ關シテハ前電通ニ取計ハレ度尙右士官以下ノ人

通六八〇四 呂二五ヶ十二一四九一五〇一佐二放海軍(一)

原一森 田

事ニ關スル要望ノ文書ハ菊池少將ニ托送スルモ遲延ノ虞アルニ付之
 ヲ待ツテ發令アリ度
 概テ第一航空艦隊職員ハ其ノ儘臺灣ニ殘留高維嶺備府ノ強化ニ充テ
 得ル様御配慮ヲ得度

第十課

海軍

人

親至急
展急
作

六一三
受信一一三五
開始一三二一
了丁一四一一
電〇六三三八
作概〇

第七潜水部隊

共

符

大 海・聯合艦隊P・第四艦隊P
第三航空艦隊P・第六艦隊P・横濱P

機密第一一三〇七四五番電

七五五B電令作業六七號

伊號第三七二潜水艦波號第一〇二潜水艦ハ左ニ依リG P電令作業七一

號ニ依リ作戰機送ヲ實施スベシ

九折

伊號第三七二潜水艦六月十五日NK發行先PAA 大馬ノ

波號第一〇二潜水艦六月二十一日NK發行先PA 南ノ

月六九八八 天二B々十二 (一二六K) 機

第十信課

安部(七一三三)二名第十方面艦隊司令部附(以上三名水上特別攻
 隊隊指揮官) 石井(三子八三九八)第四一驅逐艇乗組 石野(三
 ソ一二一四二)第十方面艦隊司令部附(十特根附) 平井(ソ四一
 一一)第一百一工作部部員 田所(八一四)第十方面司令部附(第
 百一海軍病院)

(東通社) 二〇〇司令部附八一五司令部附ノ誤作製ト認ム

海軍

452

緊急
親展

六一四

受領

始 〇〇 六四

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

東 二部長
通 大浴通 環 千歳新空基地

機密第一三三三三〇番電

三分ノ六二三

發 占守通信隊司令

宛 軍令部特務班長

通報 大警 十二A 參謀長

一 齊藤 一日 一九七四 一 轉出後當隊對ソ通信隊報能力半減ノ實情ナ

リ既報通リ現地交替派遣ノ能否通報煩ハシ度

ニ復舊艦便尙暫クハ利用可能ナルベシ

三 昨年解談豫備士官一名ノニテ實施シアリテ病氣等ノタメ情報通報ノ

一時中止ノ已メナクハニ陷リタメ實證ニ鑑ミ二名ニ増加セラレタル

第十信隊

通七三八九七四〇〇七四二九 日一〇ケ十二 一 〇 一六 海 軍 (一)

當時ノ經濟等モ再考慮善處方切望ス
 尙服部ハ身体極メテ頑健現下解氷
 過勞ニ陥ルニ五名ノ傍受員
 多有シ乍ラ作業全面的中止ノ已ムテ
 将来船便杜絶モ豫期セザルベカラズ
 三 齋藤ハ艦隊司令部ノ指示通り
 交替者ノ有無ニ拘ハラズ近日千歳
 經由赴任セシムル豫定

第十信線

海軍白

453

作

六一四

受信一〇四五

譯了一二一九

電〇六八〇六

作概〇

奉命親展

親展

第七潜水部隊（先遣部隊）

海上護衛總司令部
第三航空艦隊司令部
四艦隊司令部
横須賀

機密

機密第一四〇八〇七番電

七SSB電令作第六八號

波號第一〇一潜水艦ハ六月十七日NK發GB電令作第八六號ニ依ル

PA作戦機密送付實施スベシ

通七口八一
天三
一三六

454

至急
親願



受信
台一三
三四六

譯丁一四一五
電〇六八〇五

人事

艦隊F

暗號
秘

機密第一四一〇一二番電

發 參謀長

宛 人事局長

左ノ通配員方取計ハレ度

少將三浦（四五六）第二南遣艦隊參謀副長、大佐^喜村（九六一）第十特別根拠地隊附、アト大佐長谷部（サ一四七一）中佐今村（一七三九）第三十一航空隊副長。

通七五三七 仁D（一七五九〇EC）一〇通

海軍

第電
十五
課

455

至急
親展

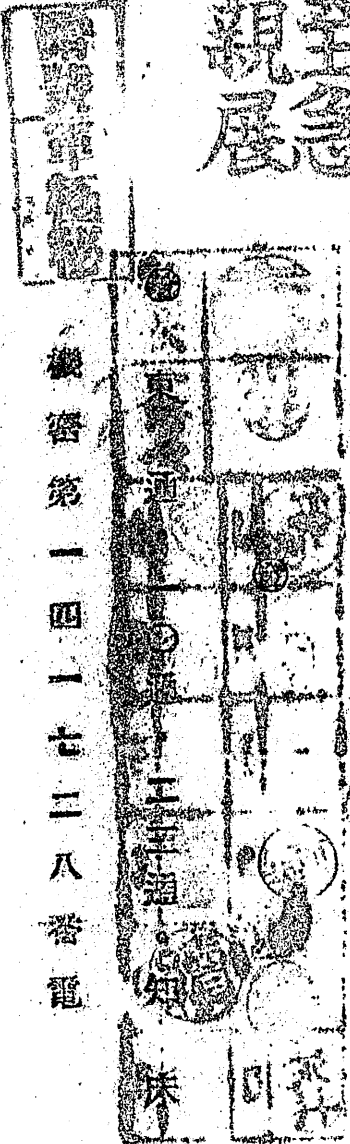
六一四

受信二一三五
開始二〇一二

譯了二三二五

電〇七〇七五

人軍
事務



機密第一四一七二八番電

發 二十五根據地隊司令官

宛 第一〇方面艦隊參謀長 軍務局長 人事局長

通報 勢參謀長 第二南遣艦隊參謀長

六月十三日第二軍司令部「シンカン」轉進ニ伴ヒ第二十五特別根據地

隊機密第二二一六一五番電(五月)

同軍經理部長井上主計大佐潮兼ニ五派遣軍司令部附ニ發令ノ件ハ取

止ノノコトニ取計ヲ得度。

通七七一八 呂二五ヲ十八(六一三三、五五)三一通海 軍

津木(雨谷)

第十信課

6.25
三AF司

456

六一五四
受信開始
〇二三五四〇〇

了〇四〇〇
電〇七〇六六
人事。航本

至急
親親展

● 横
● 東

通 通

● 父島

通

機密第一四二一〇六番電

機密第一四二一〇六番電

發 父島方特根司令官

宛 横領參謀長

通報 横人事部長 人事局長

舊九〇三空父島派遣隊員ノ大部配屬變更ニ伴ヒ配備變更分隊編成等速

急ニ實施ヲ要スルトコロ左記至急通知ヲ得度

六日澤(ホ三〇六)遠藤(夕一一九三)轉出ノ有無

通七八一〇

呂一日ケ十二(一二六KC)横放

海

軍(一)

第電信課

20.6.30

二、右轉出ノ際交代者配員ノ有無

三、父島通信隊機密第二〇一二二一番電關聯（五月） 今次ノ配屬變更

ニ件ヲ准士官以上増員ノ有無

日決ノ交代無ノ連絡不
第十信課

海軍

457

親展

六一五 受信一七五〇〇 譯了一九三〇 電〇七三三五 人事

東通

機密

機密第一五一四四三番電

發 一 根司令官

宛 人事局長

當隊主計科關係戰備ノ幕僚事務繁閑ノ實情ニ應ズル如ク田所(シ一)
一七)ヲ副官兼參謀トシ一特根司令部附岩永(シ二六六)ヲ主計長
ニ轉補方御取計ハレ度。

(東通註 本電誤字極メテ多シ)

通八一三五 呂一D(一七五九〇)一〇通

海軍

第十信課

459

作

親
急
展

一七
受信
開始
一七
〇五
了
二〇四〇
電〇八七六一

● 大海參一部

● 羅津根

● 軍務局・海軍總隊口・鎮營口

機密第一七一—二三番電 二分ノ二

(一) 新峰望潮山見張所會文及永興分遣隊、從來ノ儘存置

二 移轉時機

兵器諸施設ノ撤收ヲ行ヒ七月末迄輸送八月月上旬移轉完了ノ見込ナリ

(但輸送圓滑ノ場合)

三 今次實施決定トシ羅津ニ武官府並ニ港灣警備隊(無線通信裝備ヲ附

ス)ヲ新規設置進出セシメ清津増勢隊ヲ港灣警備隊ニ改編アリ度

(電信課註 本電二分ノ一既配布)

(東通註 本電誤字多ク翻譯遅延)

通九三二二 呂二? (一〇四〇〇〇) 佐通

作區
海艦
政護◎

460

親至
急
展

六一七

受信
始一五四五

譯丁一六〇〇
電〇八三一七
人事

東

通

共

符

暗號

機密

機密第一七一二〇一番電

發 大警參謀長

宛 人事局長

十八日附千島方特根司令部解隊豫定ノ處左ノ職員ノ轉勤先通知ヲ得
度

高橋 (一五九一) 河島 (夕三五九) 澤田 (シ五二一)

如
此
311

5821

通九二五六 仁D (B) 大通

海軍

第十課

六 一七
至急親展

受信二二四九
譯始二二二〇

譯了二三〇五 電〇八五九四

人事

東京通信隊

一〇方面艦隊

機密第一七二〇〇〇番電

發 參謀長

宛 人事局長

山口(三六六三)海上特攻作戰ニ不可缺要員トシテ差ナケレバ第十方面艦隊司令部附ノコトニ再考慮ヲ得度。

ス

三一九八八 三二〇七九二二一(一)三二〇七九二二一(一)〇三

本誌(阿波)

第十信

462

作

親至

急展

六二二 受信一四二五 譯始一六五五 譯了一七四二 電一〇九三一 航作概本〇

東通・鹿屋航空基地
美保、米子各航空基地

國分第一航空基地

機密第一八一二二二番電 三分ノ二

發 第七〇一航空隊司令

宛 大海參一部長 G B 參謀長 第五航空艦隊參謀長

軍務局長 第三航空艦隊司令長官

通報 第七〇一航空隊米子派遣隊指揮官 山陰航空隊司令

(一) 米子基地ノ共用持續ハ現地陸軍側モ一應了解濟ニシテ經緯ハ兎モ角折角軌道ニ乘リ機材ノ消耗激減整備練成ノ實大ニ望ガリツツアル今

日既決定ヲ固守シ

本電三分ノ三既配布
本電三分ノ一未着

一〇二四三 呂一Bケ十二 (三八〇三、五) 鹿屋航空基地 木村(阿波)

463

K

六一八

受信二一三四〇

譯了二二〇〇 電一〇〇九〇

航作 概本〇

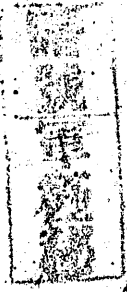
親展

親展

國分第一航空基地

東通、鹿屋航空基地

美保、米子各航空基地



機密第一八一二一一番電 三分ノ三

發 七〇一空司令

宛 大海參一部長 G 參謀長 軍務局長 五 A 參謀長

通報 七〇一空米子派遣隊指揮官 山陰航空隊司令

再ビ試驗濟ノ美保ニ移スハ航空基地トシテノ損失餘リニ大ニシテ忍ビ得ズ

(練成用燃料ノ必要アリ) (七〇一空米子派遣隊機密第一七〇九三二

番電) (電信) (本誌三分ノ六ニ未着)

通一〇〇六七 呂一五、一、二(七八〇二、五知) 鹿屋空基地 (三)

4642

至親
親展急

六一八

受信
開始
六一八

電
九六九

人事

電
九六九

人事

人事

局長
東京通信隊

東京通信隊

機密第一八一四二九番電

機密第一八一四二九番電

發 參謀長

宛 人事局長

貴機密第一六一二一六番電關聯

渡邊一二〇二ノ後任者發命セラレザル場合ハ昭南在勤武官兼補ノコト

ニ取計ハレ度

葛西一九二三 五月二十八日ニ退院

通九九三七

呂一Bケ十二(一七五九〇K)十通

海軍

第十課

465



至急親展
六八

受信 二二二〇〇

譯丁 二三一五

電 〇〇九二四六五

作 概 〇

● 海軍 總隊 口
● 東 通・佐 鎮 戸

● 鹿 屋 航 航 基 地

機密第一八二七三二番電

四分ノ一二

發 浦部參謀
宛 參謀長

通報 大海參一部

第五七集軍棋演習ノ成果ニ鑑ミ速ニ左ノ各項ニ關シ手配ヲ得度

一、敵方鹿兒島灣口及有明灣口掃海並ニ突破ノ場合大規模煙幕使用ノ際

ハ各灣口水平砲ノ威力發揮殆ド不可能ノ實情ニ付急速三二號電波探

通 一〇〇〇五六 呂一Bケ十二(七八七五KC)一KFGB放

局長							
課長							
A							
B							
E							
J							

2074

信儀級ヲ配備スルノ要アリ

ニ決戦作戰ニ於ケル對上陸作戰上是非共航空特別攻撃隊水上水中特攻
及水際戰團ヲ吻合セシムルノ要アルニ付遠ニ重點正面ニ對シ陸海軍
聯合ノ兵棋圖上演習ヲ實施スルノ要アリ尙一般ニ陸軍幕僚及海軍ノ
水中水上特攻ニ對スル認識極メテ貧弱ニ付夫々最寄ノ海地ニ於テ見
學セシムル様指導ノ要アリト認ム各特攻作戰及水際戰團必成ノ根本
條件ハ見張監視及通信ノ完璧ニ在リト思考スルトコロ。

（電信課註 本電四分ノ三四未着）

466

六二〇 受信開始 〇〇九〇〇六 了 一三〇 電〇九七三七 作 〇



一八一八二〇

通電先 參謀次長 臺

球參電第六三五號其ノ一、三、四、五、六、七、八、九、一〇
 請リヲ奉ジ舉軍醜敵擊滅ノ一念ニ徹シ勇戰敢闘茲ニ三箇月全軍將兵鬼神
 ノ奮勵努力ニモ拘ラス陸海空ヲ壓スル敵ノ物量制シ難ク戰局正ニ
 (以下一通未着)

協力シ暴兵占領時ヲ通シ銳意作戰準備ニ邁進シ來リ敵ヲ猛攻毎日夜

通一〇四九六・一〇五一四・一〇七五二協 作(七八七五)一RFGB放

浦部(小川)

帝國陸海軍航空部隊ト相呼應シ將兵等シク皇土沖繩防衛ノ完璧ヲ期セシ
 モ「滿」不敏不徳ノ致ス所事志シト違ヒ今ヤ沖繩本島ヲ敵手ニ委セント
 シ負荷ノ重任ヲ繼續スル能ハズ

上陛下ニ對シ奉リ下國民ニ對シ眞ニ申譯ナシ

茲ニ殘存手兵ヲ率ヒ最後ノ一戰ヲ展開シ一死以テ御詫ビ申上グル次第ナ
 ルモ唯々重任ヲ果シ得ザリシヲ思ヒ長恨千歳ニ盡ルナシ

最後ノ決闘ニ當リ既ニ散華セル麾下數萬ノ英靈ト共ニ皇室ノ勳榮ト皇國
 ノ必勝トヲ衷心ヨリ祈念シツツ全員或ハ設國ノ鬼ト化シテ敵ノ我が本土
 來寇ヲ破潰シ或ハ神風トナリテ天翔ケリ必勝戰ニ馳セ參ズルノ所存ナリ
 戰雲々々タル洋上尙小官統率下ノ離島各隊アリ何卒宜敷ク御指導賜リ度
 切ニ御願ヒ申上グ

茲ニ平生ノ御懇情、御指導竝ニ絶大ナル作戰協力ニ任ゼラシ各上司竝ニ
 各兵團ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表スベク微表ヲ披歷シ以テ訣別ノ辭トス
 矢彈盡キ天地染メテ散ルトテモ魂還リ御國護ラン秋ヲモ待タデ極レ行
 ク島ノ田草ハ歸ル御國ノ春ヲ念ジツツ

其ノ二

其ノ二

其ノ二

其ノ二

其ノ二

其ノ二

其ノ二

其ノ二

其ノ二

其ノ二

其ノ二

其ノ二



六

二〇

受信〇九三六
譯始一三三〇

譯了一三三五

電〇九八五二

作・概〇

緊急親展

共

符

一八八一九〇〇

球參電第六三五號 其ノ二

最後ノ警頭ニ直面セリ本土ノ安危ヲ決スル防備ヲ要ス小官平素ヨリ屢々格

別ノ御指導ヲ受ケ且熱誠溢ルル現地同胞ノ

電信課註 本電一三四五六七八既配布

東通註本電誤字多ク同文ヲ待 翻譯ノ爲遅延セリ

通一〇八六五 協作(七八七五K)一KFGB放